

第51回



保育のつどい 2024

対面+オンライン



会場 講座①・② 千葉保育センター 船橋市本町3-4-3
講座③ 妙典保育園 市川市妙典6-2-45
参加費 一般1,800円 学生1,000円

講座すべて参加できます。今年是对面での研修も行います。場所は千葉保育センターおよび妙典保育園です。保育、子育てのことを学び合う「ちば保育のつどい」に、職場の皆さんで、友だちを誘って、ご参加ください。

講座① ②は7月1日より録画配信予定ですが、詳しくは申し込みをされた方にお知らせいたします。

講座① 6月22日(土) 10:00~12:00
(千葉保育センター20名+録画配信)

「保育の中の子どもの声
~多様性の時代の保育実践について考える~」 加藤繁美先生

今は多様性の時代、みんなが違うことを当たり前になら、みんなが孤立して生きない時代に、人が違うことを面白がるような人間集団のありようを保育の中で作ることができないか?その違う声を尊重しあえる集団保育の形はどんなものか実践と理論を繋げながら考えたい。(HPより)

山梨大学名誉教授
名古屋大学大学院教育学研究科
博士前期課程修了。保育・幼児教育
制度、保育実践の理論的・構造的研
究に取り組む。博士後期課程在学中
に山梨大学教育学部に着任。以降18
年まで在職、現在名誉教授
著書に「保育の中の
子どもの声」他多数



講座② 6月22日(土) 14:00~16:00
(千葉保育センター20名+ZOOM・録画配信)

「困っている子とその保護者にどう寄り添って
いったら良いか?」 佐藤慎二先生

「気になる」子ども・・・この子どもたちは「困った」子どもなのではなく、何かに「困っている」子どもなのです。このように「見方」を変えることで「味方」になってあげたい。また、保護者の方々も悩んだり迷ったりしている時に、保育者はどう寄り添ったらよいのかを考えていきます。

植草学園短期大学教授
特別支援学校・支援学級に勤務さ
れた後、現職。著書に『気になる』
子ども 保護者にどうつたえる?
「通常学級の『特別』ではない支援
教育-校外支援体制ユニバーサル
デザイン・合理的配慮」「いつで
も・どこでも楽しめる-ひっかけ手
遊び・簡単マジック」

講座② 6月22日(土) 15:00~17:00
(市川市妙典保育園 30名)

実技「遊びの引き出しを増やそう!第2弾」 荒牧光子先生

日々の保育で天候や子どもたちの体や心の状態に合わせて、子どもたちをグッと惹きつける小技が使えたらいいのになあ!と感じている人、「遊びの引き出し」の中身を豊かにしたい人、子育て中の人、集まれ!知って良かったと思える遊びがきっとあります!

遊び塾「はらっぱ」主宰
おもちゃコンサルタントマスター
歌・手遊び、ゲーム、タオル・バン
ダナを使った遊び、工作 etc...
荒牧さんの遊びの引き出しは無限
大にあります。いつもニコニコ元気
いっぱいなので力を
もらえます。



【主催】第51回ちば保育のつどい実行委員会 【後援】千葉県・千葉日報社

夏は合研
第56全国保育団体合同研究集会(合研)
7/27~7/29 IN熊本市 開催!



会場参加、オンライン参加に加え、録画配信も
充実!
分科会もオンラインで開催、全国の仲間と学
び合えます!

